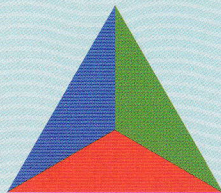


2022年11月3日

2022年

11月号



会報 三方會

(一般社団法人)三方會 IFSPK

経営12カ条 稲盛和夫

第1条

事業の目的、意義を明確にする
公明正大で大義名分のある高い目的を立てる

第2条

具体的な目標を立てる
立てた目標は常に社員と共有する

第3条

強烈な願望を心に抱く
潜在意識に透徹するほどの

強く持続した願望を持つこと

第4条

誰にも負けない努力をする
地味な仕事を一歩一歩堅実に、弛まぬ努力を続ける

第5条

売上を最大限に伸ばし、
経費を最小限に抑える
入るを量って、出するを制する。
利益を追うのではない。利益は後からついてくる

第6条

値決めは経営
値決めはトップの仕事。お客様も喜び、
自分も儲かるポイントは一点である

第7条

経営は強い意志で決まる
経営には岩をもうが強い意志が必要

第8条

燃える闘魂
経営にはいかなる格闘技にもまさる
激しい闘争心が必要

第9条

勇気をもって事に当たる
卑怯な振る舞いがあてはならない

第10条

常に創造的な仕事をする
今日よりは明日、明日よりは明後日と、常に

改良改善を絶え間なく続ける。創意工夫を重ねる

第11条

思いやりの心で誠実に
商いには相手がある。

相手を含めて、ハッピーであること。皆が喜ぶこと

第12条

常に明るく前向きに、
夢と希望を抱いて素直な心で

新理事紹介

株式会社 マンホール商会 風祭克彦 会長



この度、新しく三方會の理事となりましたマンホール商会の風祭です。
昨年、三好理事長より会社の代表を降りたのだから、三方會の理事になってもらえないかとの話を頂き、気持ちよく承諾させて頂きました。
三方會の方針は「三方良し」の精神で、商売において売り手と買い手が満足することは当たり前のこと「社会に貢献できてこそ商売と言える」という考え方と聞いております。
社会貢献するためには、まず本人が健康でなければできません。
先日テレビで小説家の五木寛之さん（89才）が、後半の人生を豊かに過ごすコツとして、二つの捨てないことを挙げていました。
一つ目は「仕事を捨てないこと」
二つ目は「人との縁を捨てないこと」だそうです。
三好さんは長きに渡り、接着剤に関わっていることから、人と人を結びつける天才かもしれません。
三方會の皆様は、三好さんと何らかの縁があり、知り合うことができました。
この縁に、改めて感謝申し上げるとともに、今後は三方會を通じて社会貢献できたらと考えております。
皆様のご協力の元、微力ですが頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

株式会社
マンホール商会

■本社・営業部
東京都杉並区方南2丁目8番2号

■茨城工場（日本工業規格表示認証工場）
茨城県小美玉市堅倉1698番地5

■レジン事業部
埼玉県坂戸市善能寺513番地

Re工法

インフラは、**維持・更新**の時代へ

1950～70年の高度成長期につくられたインフラ施設は老朽化が進み深刻化しています。
2023年に、**建設後50年**以上を経過する施設道路橋が39%、トンネル27%、下水道管渠8%
近年起こる地震や自然災害に対しても早急な**予防保全対策・長寿命化**が必要です。

再生 **Re** v i v a l (リヴァイヴァル)

補修 **Re** p a i r (リペア)

補強 **Re** i n f o r c e (リーインフォース)

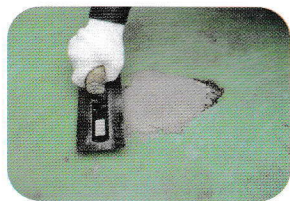
3つのテーマに対して

新技術
新素材
新商品

3つの新を

積極採用し、インフラ老朽化問題に対して
メンテナンス工法を提唱して参ります。
またそれらは、常に進化を続けます。

コンクリート部分補修材
アルプロン EPモルタル



5mm厚0.6㎡施工可能

アスファルト舗装部分補修材
アルプロン ピアスペーブモルタル



5mm厚0.7㎡施工可能

6kg/セット

・主 剤 : 1.0kg ・特殊骨材: 4.8kg
・硬化剤 : 0.2kg

8.5kg/セット

・主 剤: 0.9kg ・特殊骨材: 7.0kg
・硬化剤: 0.6kg

2022年 三方會 第一回研修旅行



新工法を学び、会員の親交深めた有意義な研修旅行

(別表) アラミド繊維補強工法設計施工技術

Re工法講習修了証

修了証NO	氏名	住所
220501	風祭克彦	東京都杉並区
220502	河合誠司	東京都中野区
220503	中尾憲人	東京都杉並区
220504	甘楽 基	埼玉県桶川市
220505	野本大輔	埼玉県杉戸町
220506	村山聖義	埼玉県さいたま市
220507	西澤久男	埼玉県川口市
220508	柳川将彦	千葉県千葉市
220509	林田 修	大阪府寝屋川市
220510	大嶋行次	千葉県松戸市
220511	三好邦重	東京都江東区
220512	矢吹三枝	東京都北区
220513	氣田雄介	神奈川県横浜市
220514	西出 靖	千葉県市川市
220515	池野政秀	東京都大田区
220516	新宮照治	兵庫県芦屋市
220517	川村政則	大阪府豊中市
220518	笠原秀晃	大阪府高槻市

一般社団法人「三方會」主催の第一回研修旅行が2022年5月15日～16日に、関東百貨店健保保養所「きぬがわ」で開催され、メーカー、商社などから、会員21名が参加。研修会及び交流会を実施した。

研修会は、日米レジン(株)の甘楽氏より、「Re工法講習会」と題して、これからのインフラ維持・更新の時代に対応する商材と工法の紹介。

アラミド繊維による、経年劣化によるコンクリートなどの補修・補強をはじめとし、今後危惧されるインフラの老朽化問題に対応するメンテナンス工法や、使用される製品の特長などを学び、受講者18人が修了証を取得した。(別表参照)

研修会後は、会社の垣根を超え、会員が互いの交流を深め、有意義な2日間となった。

寿海波平に紅旭鮮はり
遙に看る宝字錦帆の懸心を
同東の七福皆笑を含む
知る是水金銀珠玉の船

宝船
藤野君山作
寿海波平紅旭鮮
遙看宝字錦帆懸
同東七福皆含笑
知是金銀珠玉船

編集手帳

大澤 英次

80歳の峠

私は今年で84歳になった。酒も煙草も欠かさない不良老年である。
勿論、身体はボロボロ、機能の大部分は劣化が激しく、良く此処まで生きてこれたと思う程である。
人生も此処までやってくると、やがて途絶える「奥の細道」に差し掛かる。
左右が断崖の急途の先は、霧に閉ざされているのだ。

老年者・前期・後期と辿って来て、80歳の峠に差し掛かると、もう老年者とも言えなくなる。去年可能だったことが今年には出来ない。それなら未だ良い。昨日出来たことが今日、出来なくなってしまう。機能不全になった身体は医者に掛かっても、元へは戻らない。癌だろうと、心臓だろうと、脳だろうと、劣化した臓器は治癒不可能となる。現状を何時まで維持できるか、それにどの位の費用と時間を要するか。全てが無駄となる。

此処に達した老年者に必要なのは、「樂觀主義的諦感」であろう。
先ず根本的な考え方をプラスする。どう足掻いてもなるようにしかならないのだから、迷わず全てを捨て、都合の良いこと、楽なこと、楽しいこと、好きなこと、出来ること、だけヤル。ヤラネバならぬコトなんかない。嫌なことはシナイ。
若い時の様に計画を立て奮闘努力をするなんていう馬鹿なことはしない。何時呆け、何時死ぬか、判らないところまで来ているのだから、ジタバタしても仕方がない。人・物・金・アラユルものへの執着を捨てる。

全てを笑い飛ばし、悠々気儘に最後を遂げれば良いのだ。兵役・納税・勤労の三大義務は80歳で終わり。国・社会・家庭への義務も80歳で終わり。後は笑って死んで行くだけである。

